

	上
	富
	田
	ス
	ポ
	ー
	ツ
	セ
	ン
	タ
	ー
	町

サッカー場整備計画に、住民から反対意見はほとんどない。これは、他のスポーツ・文化・教育などに、さまざまな施策を行っているためである。

なお、観光スポーツ施設であり、住民が毎週施設を利用するのはむしろ多い。

利用実績は、Ｊリーグ柏レイソル・セレッソ大阪の夏季キャンプなど。平成22年度の利用者は6万人程度。天然芝2面、人工芝1面の特色により、近畿レベルの大会の申し込みが多い。

サッカー場の管理は、ノウハウをもつ民間に委託。運営方法は直営だが、民間委託を考えている。

維持管理費は平成21年度が3480万円。使用料収入は840万円。

宿泊・弁当などの経済波及効果、青少年の健全育成、健康増進による国保・介護費の減少など、見えない効果があるようだ。



この施設は、県内にサッカー専用のグラウンドがなかったため、奈良県サッカー協会が建設した。

利用実績は、土日・祝日で選手関係が2万人、観戦者1万人、平日で選手、指導者が7000人の合計3万7000人。年間稼働率は土日・祝日は100%、平日は午後5時からが60%程度。サッカー以外の利用としては、グラウンドゴルフなど。平成23年度は、地元の人への無料開放や、土日のイベント、夏休み期間の子どもサッカー教室などを計画している。

施設は、閉校になった県立高校のグラウンドに建設され、県に土地の使用料を毎月39万円支払っている。維持管理費は月平均82万円程度で、採算は取れている。経済波及効果は、コンビニの売り上げが増え、周辺の自動販売機の売り上げが増えたようだ。

	奈
	良
	県
	フ
	ツ
	ト
	ボ
	ー
	ル
	セ
	ン
	タ
	ー
	町

たわらもとちよう

